

科目名		技術者倫理(Engineering Ethics)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年	生産システム工学専攻 物質工学専攻 経営情報工学専攻	2 単位		講義	後期 100分/週	90 時間			
担当教員		【常勤】吉田政司, 根岸 可奈子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	地球環境問題に関する基礎知識を修得し、人類の持続可能な発展の条件について考える。また、企業の社会的責任をふまえて、企業に勤務する技術者の倫理について考える。								
学習・教育目標	F①②	JABEE基準1(2)	(b)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	以下の教科書に基づいたレジュメを配布する。「JABEE対応 技術者倫理」小出泰士著(丸善株式会社)								
補助教材等									
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
		40		60					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】		○							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】		○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【倫理観】		◎		◎					
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
技術者の責任についての基礎知識を理解し、状況に応じて、技術者として、倫理的に正しい行動ができるための基礎的な手法を修得する。そのために過去の事例について学修する。									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	技術者倫理の要求される背景	今、なぜ技術者倫理がとわれているのかを考えさせる(吉田)。	講義の復習をおこなう。水俣病について予習をおこなう。
2	事例研究1	水俣病事件の背景と技術者の対応を考える(吉田)。	講義の復習をおこなう。地球環境問題について予習をおこなう。
3	地球環境問題	地球環境問題への国際的取り組みについて説明する。(吉田)	講義の復習をおこなう。地球温暖化について予習する。
4	地球温暖化	地球温暖化の現状と問題点について考える(吉田)。	地球環境問題に関するレポートを作成する。
5	事例研究2	三菱自動車クレーム隠し事件について考える。(吉田)	講義の復習をおこなう。東京電力福島原子力炉心溶融事故について予習する。
6	事例研究3	東京電力福島原子力発電所の炉心溶融問題について考える。	講義の復習をおこなう。
7	技術者の社会的責任1	技術者の社会的責任について説明する。(田戸)	技術者の社会的責任についてレポートを作成する。
8	技術者の社会的責任	技術者の社会的責任について説明する。(田戸)	
9	説明責任	技術者が負う説明責任とは何か理解する。	(予習) 前回のレジュメを見直すこと。 (復習)
10	製造物責任	技術者が負う製造物責任とは何か理解する。	配布資料にある実際の事例に基づき、各種技術者が負う責任について独自の見解を述べる。
11	ヒューマンエラー	ヒューマンエラーについて起こる状況と対策について理解し提案することができる。	(予習) 題目にある用語と関連語の意味を調べておく。 (復習)
12	内部告発	内部告発とは何かを理解し課題を検討することができる。	資料に基づき、指定の状況で何が問題となるのかを考え対策を立案する。併せて、自分の研究テーマとの関連性について述べる。
13	知的財産権	知的財産の管理について理解し、実際の事例に対して考察することができる。	
14	予防原則	予防原則とは何か理解することができる。	
15	まとめ	試験の解説を通じ間違いを修正すると共に、特に論述に関する理解を深めることができる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			25 時間
自 学 自 習			65 時間